

保護者の皆様

令和8年10月9日

川崎市立南河原小学校
校長 山口 嘉徳

令和8年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月8日(水)～10日(金)に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月23日(木)に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す児童像等)の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましても、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す児童像等)
明るく・強く・正しく

<中期経営目標>

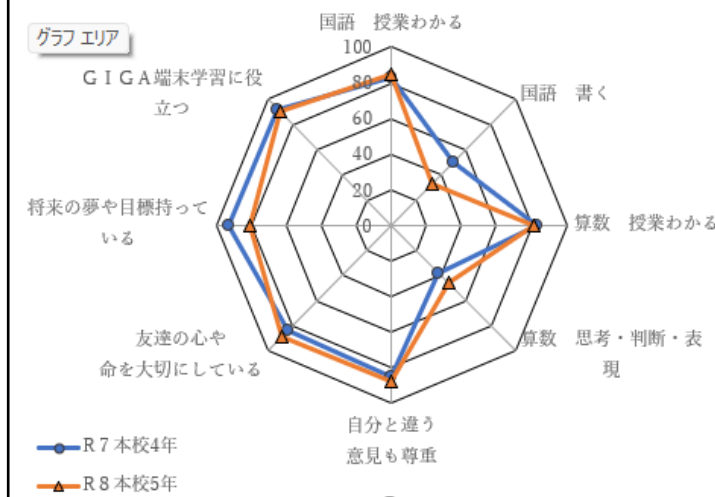
- (1)心豊かな人間関係づくり
- (2)確かな学力の向上
- (3)体力の向上と健康・安全教育の充実
- (4)地域に根ざした特色ある学校づくり

令和8年度 川崎市学習状況調査 4年生



- ・「国語の授業がわかる」は89ポイントでしたが、「書くこと」は55ポイントと、書くことが苦手な児童が多いことが分かります。日頃から「自分の考えや思いを書く」ことを積み重ねたり、必要に応じて語型を提示する等の支援を取り入れたりすることで、児童が自信をもって書くことにのぞめるよう、授業をしっかりと組み立てていきます。
- ・「算数の授業がわかる」は85ポイントでしたが、「思考・判断・表現」は52ポイントで、ポイントに差が出ています。まずは、基礎基本の定着のために計算等の復習時間をしっかりと確保しつつ、課題解決では、何を求めるのか、何をもとにして考えたらいいのかを常に考え、解決に向かっていけるよう取り組んでいきます。

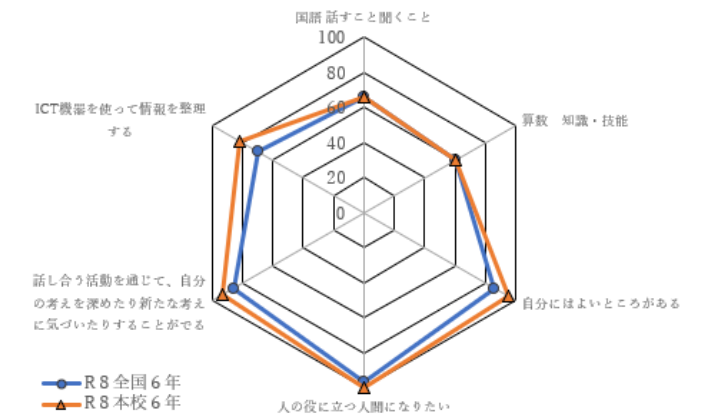
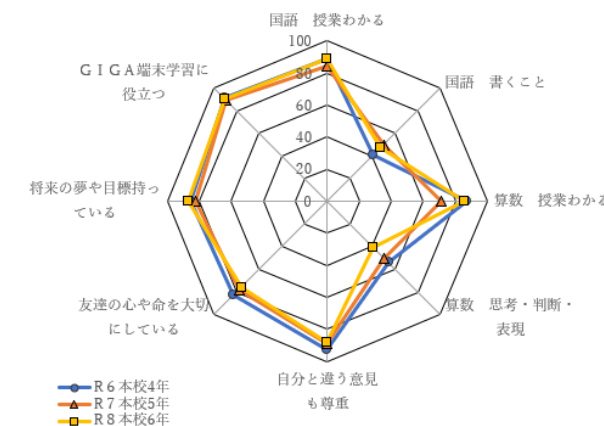
令和8年度 川崎市学習状況調査 5年生



- ・国語「書くこと」では、4年時より18ポイントと大きく下回っています。自分の考えを適切に文章化する力、漢字や語彙の習得に課題があるようです。モジュールの時間を活用して、既習の漢字や言葉を使った文章作りの練習をする時間を設定し、「書く力」を高めていきます。
- ・「GIGA 端末が学習に役立つと思う」と回答した児童は90ポイントと高くなっており、国語と算数の「授業がわかる」と回答している児童も80ポイント前後と高くなっていきます。このことから、GIGA 端末を活用して児童同士が考えを共有する学習の仕方が、理解を深めていると考えられます。
- ・算数「思考・判断・表現」では、4年時より7ポイント上昇しているものの、依然として低い状態です。これは、国語の力も関係していると思われます。授業時間内やモジュールの時間に既習の定着を図るとともに、「問題場面を読み取る力」も国語と関連させて伸ばしていきたいと思ひます。

令和8年度 川崎市学習状況調査 6年生

全国学力・学習状況調査 6年生



- ・国語「授業がわかる」は 5年時より4ポイント上昇しました。さらに「GIGA 端末が学習に役立つ」と答えた児童も 94 ポイントと5年時と変わらず高いポイントを維持しています。こうしたことから、GIGA 端末を活用した学習の中で、自分の考えをもちそれを表現する力が高まってきているようです。一方で、全国の結果「話すこと・聞くこと」の60ポイントに比べると「書くこと」は 14ポイント少ないという結果になりました。普段から友達と考えを共有する中で、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いて学習を深めたりすることができている反面、自分の考えを相手に伝えるように書き表すことに課題があるようです。「筋道を立てて文章を書く」「根拠や具体例を挙げて説明する」などより良い表現になるように指導していきます。
- ・算数「思考・判断・表現」は昨年度に比べ8ポイント少ない結果になりました。既習内容が定着していないことから、それらを活かして自分の考えをもつことが難しい児童も多いようです。そこで新しい学習につながる既習事項を復習したり、学習した内容をくり返し練習する時間を設けたりして、「自分の力で課題解決ができる」「基礎基本の定着」を目指します。
- ・「自分とは違う意見も尊重している」は84ポイントと昨年度に引き続き高い数値になっています。考えを共有する時間が多い学習形態の中で、友達の考えを取り入れてより良い自分の考えを作り出していくことを大切にしていきます。